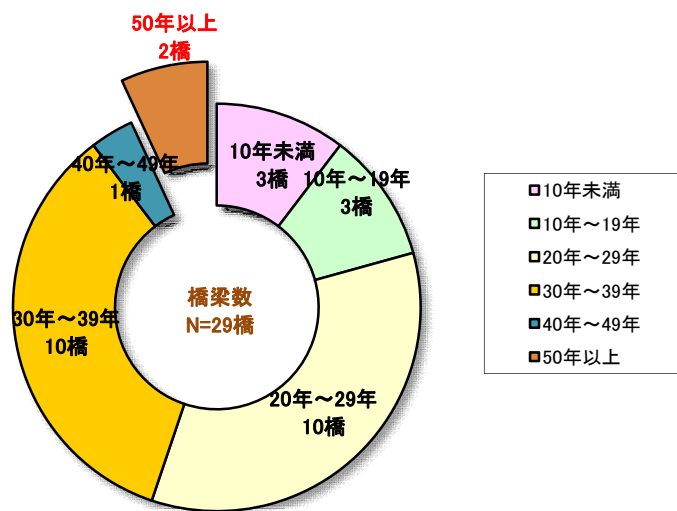


平成30年度 野辺地町管理橋梁点検結果

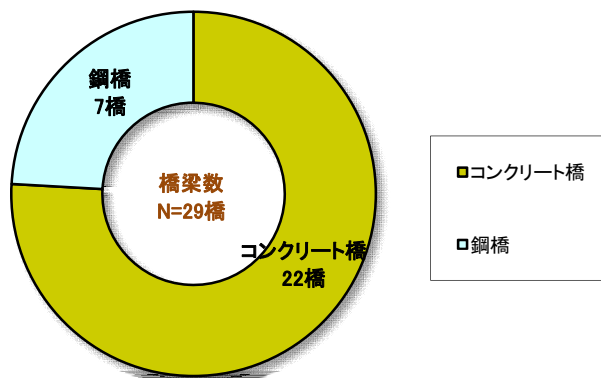
1. 点検実施橋梁

野辺地町が管理する橋梁について、経過年数及び橋種別の集計を図－1 に示す。
このうち10橋について、平成30年度に橋梁定期点検を実施した。

- 架設後経過年数50年以上の橋梁は 2橋 現存する。（H31.4.1 現在）
- 橋種は全体の合計でコンクリート橋が22橋、鋼橋が7橋である。



架設後経過年数別の割合



構造形式別の割合

図－1 野辺地町が管理する橋梁の内訳（平成 31 年 4 月 1 日現在）

2. 損傷状況

平成30年度に実施した橋梁10橋の損傷については以下の傾向が見られた

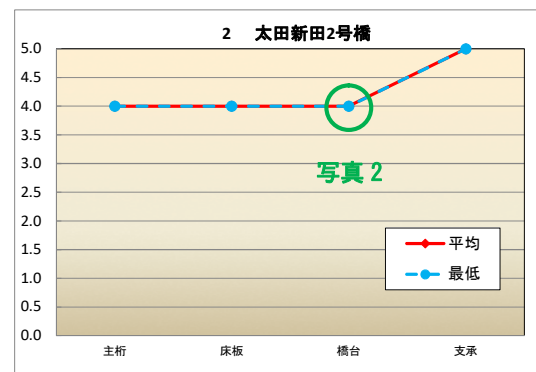
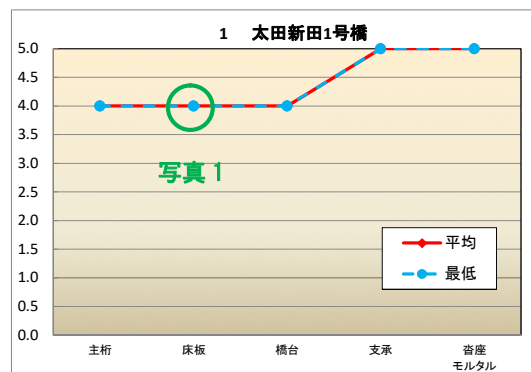
- 有戸橋において、沓座モルタルのひび割れ・欠落が見られた。
- その他橋梁の主要部材には、極度に損傷・劣化の進行した要素は見られなかった。

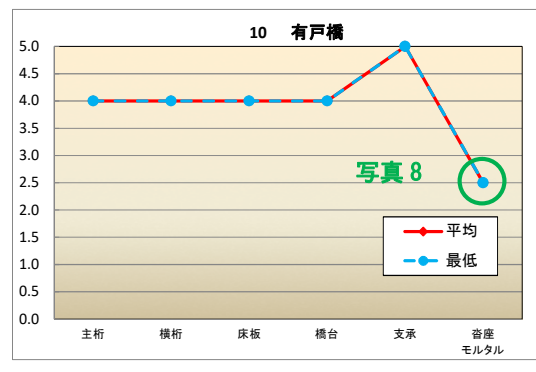
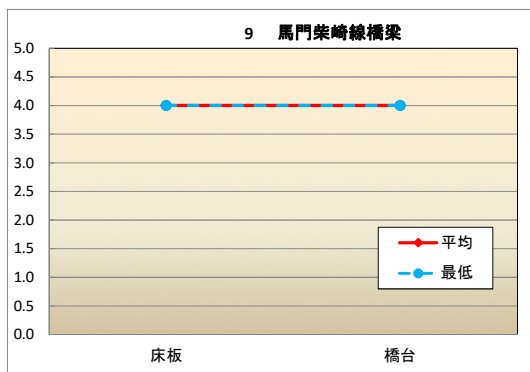
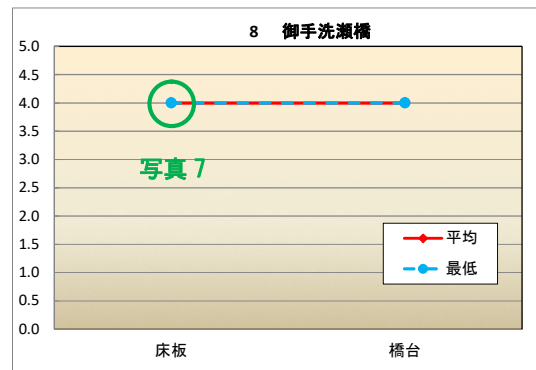
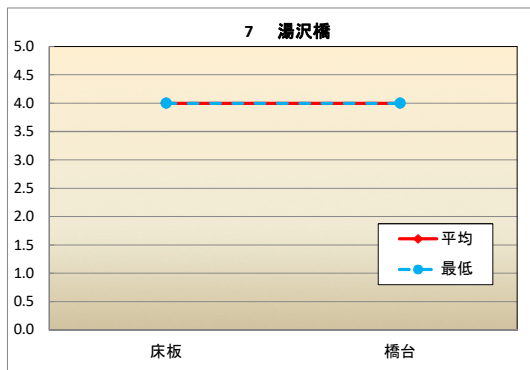
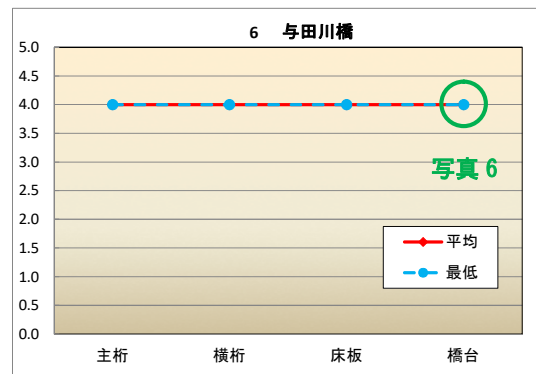
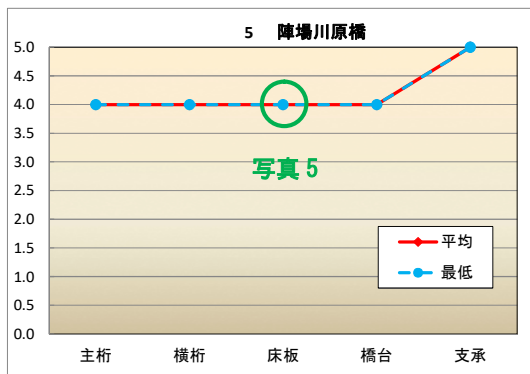
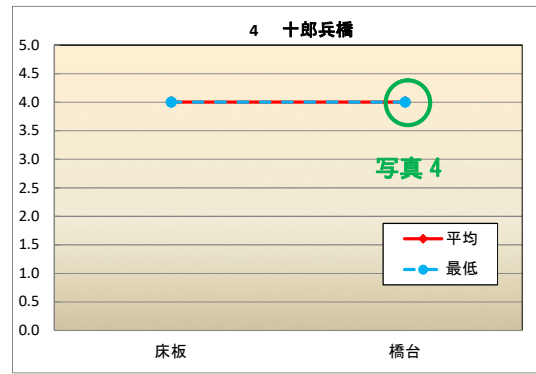
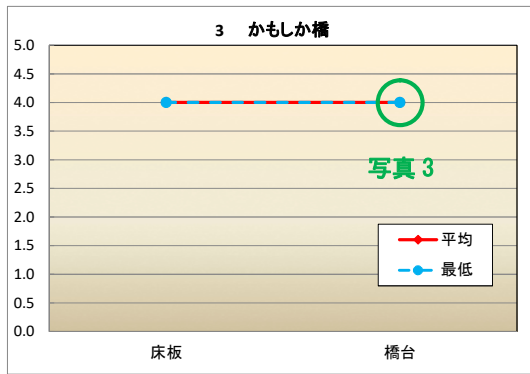
(2) コンクリート橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下に示す。

表2-2 部材別健全度一覧表（概要）

NO.	橋 種	橋梁名	径間	部材別健全度						
					主桁	横桁	床板	橋台	支承	沓座 モルタル
1	C	太田新田1号橋	1	平均 最低	4.0 4.0		4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	5.0 5.0
2	C	太田新田2号橋	1	平均 最低	4.0 4.0		4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	
3	C	かもしか橋	1	平均 最低			4.0 4.0	4.0 4.0		
4	C	十郎兵橋	1	平均 最低			4.0 4.0	4.0 4.0		
5	C	陣場川原橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	
6	C	与田川橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0		
7	C	湯沢橋	1	平均 最低			4.0 4.0	4.0 4.0		
8	C	御手洗瀬橋	1	平均 最低			4.0 4.0	4.0 4.0		
9	C	馬門柴崎線橋梁	1	平均 最低			4.0 4.0	4.0 4.0		
10	C	有戸橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	2.5 2.5







太田新田 1 号橋

写真 1 床版の損傷



太田新田 2 号橋

写真 2 橋台の損傷



かもしか橋

写真 3 橋台の損傷



十郎兵橋

写真 4 橋台の損傷



陣場川原橋

写真 5 床版の損傷



与田川橋

写真 6 橋台の損傷



御手洗瀬橋

写真 7 床版の損傷



有戸橋

写真 8 沓座モルタルの損傷

(3) その他部材の劣化状況まで

点検の結果、その他部材についての進行した劣化状況については以下の通りである。

- 太田新田 2 号橋・・・・・・・・排水管の破損が見られる。(写真-1)
- 十郎兵橋・・・・・・・・・・防護柵の変形が見られる。(写真-2)
- 陣場川原橋・・・・・・・・・・添架管の腐食が見られる。(写真-3)
- 御手洗瀬橋・・・・・・・・・・地覆のひび割れが見られる。(写真-4)



写真-1 排水管の破損



写真-2 防護柵の変形



写真-3 添架管の腐食



写真-4 地覆のひび割れ

3. 道路橋定期点検要領要領（国土交通省道路局）に基づく、判定結果

以下に国土交通省敵機点検要領に基づく判定結果を示す。

表 3-1 道路橋定期点検要領に基づく判定結果

橋梁番号	橋梁名	部材単位					道路橋毎
		上部構造			下部構造	支承部	
		主桁	横桁	床版			
401203701	太田新田1号橋	I		I	I	I	I
401203702	太田新田2号橋	I		I	I	I	I
401204001	かもしか橋			I	I		I
401300301	十郎兵橋			I	I		I
401307101	陣場川原橋	I	I	I	I	I	I
401309102	与田川橋	I		I	I		I
401309801	湯沢橋			I	I		I
401309901	御手洗瀬橋			I	I		I
401310701	馬門柴崎線橋梁			I	I		I
401310901	有戸橋	I	I	I	I	I	I

表 3-2 道路橋定期点検要領による判定区分

区分	状態
I：健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II：予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III：早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV：緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。